



舟からの景色を楽しむ乗船客ら 三大垣市船町 水門川

## 『水門川で紅葉間近！』 秋イベントで市民ら満喫

- 県内は10月26日（日）、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、各地で最高気温が例年より2～3度上回り、10月上旬の温かい一日となりました。

大垣市の水門川沿いでは、赤や黄色に色づき始めた紅葉の中をゆっくりと進む「たらい舟」や「第24回福祉ふれあいボランティアフェスティバル」、秋の西濃路を走り抜ける「水都おおがき芭蕉マラソン2014」が開かれ、また、隣接する安八町では「安八ふれいあ祭り2014」が繰り広げられ、各地が熱気に覆われました。

- たらい舟は西濃水産漁業協同組合の組合員と、岐阜経済大の学生が船頭を務め、最大18艘の舟が市営東外側駐車場前から奥の細道むすびの地記念館前までの約1キロを約30分かけて下るもので、当日は県内外から152人が乗船。船頭が竹棒で舟を操り、乗船客は録音テープのガイドを聴きながら、色づき始めた桜やモミジなど川沿いの景色を楽しみました。

乗船客の男性は「思ったほど揺れず、周りの景色がとても綺麗で気持ち良かった」と語り、秋の水都を満喫しました。



何艘ものたらい舟が連なり、水門川を下って行く様子

## ■ふれあいで 優しさ感じる フェスティバル！



- 水門川沿いに位置する大垣市総合福祉会館及びその一帯で「第24回福祉ふれあいボランティアフェスティバル」が開かれました。総合福祉会館の会場内では、身障者の作品展や展示販売が行われ、玄関前の広場では、飲食や特産品のバザーなどを買い求める人や、福祉施設コーナー、非常炊き出し実演などに、多くの家族連れらで賑わいました。

飲食バザーなどで賑わう市民ら 二大垣市総合福祉会館前（大垣市馬場町）

## ■秋風爽やか 市民ランナー水都駆け抜ける！

- 伊吹山を眺めながら走る、「水都おおがき芭蕉マラソン2014」が開かれ、市民ランナー1,735人が大垣市街地を駆け抜け健脚を競いました。

今年は松尾芭蕉の生誕370年の節目にあたり、芭蕉が「奥の細道」の旅を終えたむすびの地「大垣」をPRしようと、今大会から、名称・コースを変更。コースは、ハーフマラソンと3キロの2コース6部門で開催されました。小川敏大垣市長の号砲を合図に、浅中公園陸上競技場を勢いよく飛び出したランナーたちは、沿道からの声援を受けながら、田園地帯や工場が立ち並ぶ市街地など、さまざまに変化する景色の中を自身の限界に挑戦しながらゴールを目指しました。



号砲が鳴り、勢いよくスタートしたランナーたち  
二浅中公園陸上競技場（大垣市浅中）

## ■安八町でふれあい祭り 2.5万人が多彩な催し楽しむ！



- 「安八ふれあい祭り2014」が安八町役場一帯で開かれ、25日は詰めかけた来場者に向けて華やかに餅がまかれた他、全国大会で活躍する岐阜総合学園高校の太鼓部が、迫力ある演奏などを披露。翌26日は地元野菜を使った「安八どっぶり鍋1千食」が振る舞われ、来場した親子連れやカップルらが熱々の鍋を口の中にほおばりました。その他、ぎふチャンラジオ公開生放送の歌謡ショーや、お楽しみ抽選会などが行われ、食欲の秋と深まりゆく秋を満喫していました。



来場者に向けて餅が豪快にまかれた



「安八どっぶり鍋」を求めて長蛇をつくる来場者